

植物防疫情報第8号

令和2年9月3日
岡山県植物防疫協会
岡山県病害虫防除所

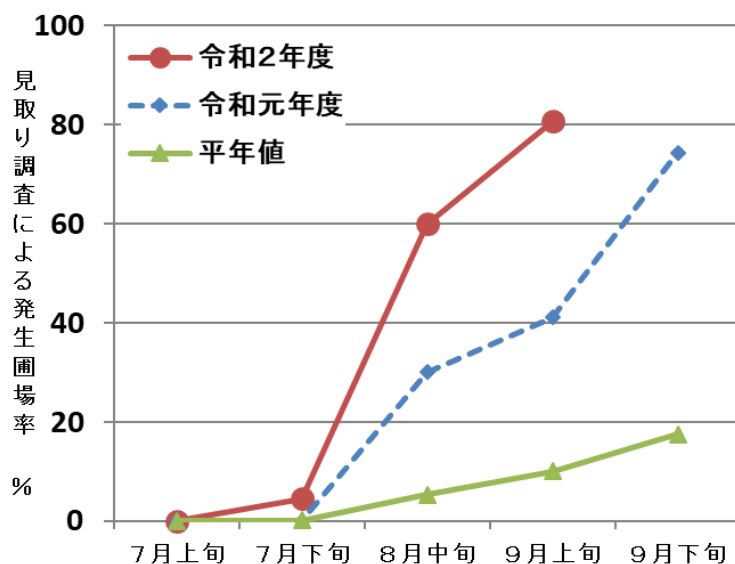
<<警報レベル継続中>>

水稻のトビイロウンカの防除を徹底してください！！

岡山県病害虫防除所では、トビイロウンカについて発生予察注意報第3号（令和2年7月9日）、発生予察警報第1号（令和2年8月19日）を発表し、防除の徹底を呼びかけているところです。このたび9月1日、2日に行った巡回調査の結果、県内全域での発生ほ場率が80.7%（平年10.0%）と平年より高くなっていました。

また、前回、8月17日、18日に行った巡回調査時から さらに発生ほ場数が増えており、県内で広範囲に被害が発生すると予測されます。

現在、県中北部の一部地域で、トビイロウンカによる坪枯れの発生が確認されはじめており、今後、中生・晩生品種の収穫に向けて、最終防除の徹底をお願いします。



《防除対策》

- (1)すでに坪枯れの症状が発生しているほ場やトビイロウンカの株元生息数が多く坪枯れの発生が予想されるほ場では防除を徹底する。なお、本虫は、ほ場内で局所的に生息するため、ほ場の中央部まで入りながら、なるべく多くの株元をよく観察する。
- (2)この時期の防除には、効果の発現の遅い粒剤は用いず、粉剤、液剤を散布する。粉剤、液剤は、虫体にかからないと十分な効果が得られないため、株元に生息するトビイロウンカにかかるように丁寧に散布する。なお、収穫期が近い場合の薬剤散布は、特に農薬使用基準の収穫前日数をよく確認して行う。
- (3)早生品種など収穫間近の品種については、できるだけ早く収穫する。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239 です。

